



いきいき

小富士っ子



R 6 学校便り No. 2

令和 5. 4. 2 1

四国中央市立
小富士小学校

「頭の体操」

記憶は定かではないのですが、私が小学3、4年生の頃に書籍「頭の体操」を隣の家のお兄さんの部屋で見付けました。読み始めるとすぐに虜になり、夢中で読み進めました。最初に手に取ったのは第3集だったでしょうか。他の集も見付けては次々と読みましたが、第1集は見つかりませんでした。でも、やっぱり第1集が読みたくて、おねだりして買ってもらいました。「頭の体操」は、当時、千葉大学助教授だった多湖輝先生が書かれたクイズ本です。第1集の初版本は、1966年の12月に発行されていますが、クイズは、今でも新鮮に感じます。下の問題は「汗だくで荷車を押す親子」のタイトルがつけられたクイズです。



ある急な坂道を、前引き後押しして、汗だくで荷車を動かしている2人連れがあった。

まず、引いている人に、「後押ししているのは、あなたの息子さんですね」と尋ねると、「はい」と答えた。ところが、後ろへ回って、息子に、「前で引いているのは、君のお父さんだっけ」と尋ねると、「とんでもない!」と言われた。さてこの二人の関係は？（「頭の体操」第1集 問20）



答えは簡単、~~XXXXXXXX~~（答えは裏面）。なかなか答えにたどり着かなかった人は、ひょっとすると「荷車を引いているのは男性」という先入観が邪魔になっていたのではないのでしょうか。クイズを解くときには、発想を転換することが求められることがあります。うまく発想が転換できれば簡単なのに、その発想の転換がなかなか難しいようです。半世紀以上前、すでにクイズを通してジェンダーにおける思い込みに疑問を投げかけた多湖先生の意識の高さに感心します。「頭の体操」との出会いは、自分の常識を一度疑ってみたり、先入観に囚われていないかを考え、判断したりしようと思う、私の考え方の原点になっているように思います。クイズを解くことで、知識や道徳観などを学ぶことができます。さあ、皆さんも「頭の体操」に挑戦してみてくださいは…。

本日4月21日(日)は、参観日及びPTA総会でした。新年度になって初めての参観日で、一つ進級して、新しい気持ちで頑張っている子どもたちの様子をご覧になることができたのではないのでしょうか。熱心に授業を参観し、PTA総会等で学校やPTAの方針や活動についてご確認ください、大変ありがとうございました。保護者の皆様にご協力をいただきながら「ふるさとを愛し、ともに学び、ともに生きる小富士っ子の育成」を達成したいと思います。今年度も、子どもたちが読書に親しみ、学校での読書活動の推進を図りながら、更にICTの活用を推進し、デジタルとアナログのベストミックスによる授業を核に、子どもたちの学力向上を実現したいと思います。読書については、今年度も家庭読書週間を設定します。休日の余暇など利用し、子どもたちと一緒に読書に親しんでみてはいかがでしょうか。ちなみに、昨年度も紹介しましたが、4月23日は「子ども読書の日（平成12年に子どもの読書活動推進に関する法律により定められた）」です。



4月24日(水)から家庭訪問が始まります。担任と1対1で話すことができる貴重な機会です。お子様の良いところをいっぱい聞かせてほしいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

答え：荷車を引いていたのは、お母さん